

専修大学文学部哲学科公開講座

「哲学とパフォーマンス・アート」第1回のお知らせ

専修大学哲学科では、エレクトリック・トランペッター近藤等則氏をお招きして、演奏および討論の会を開催します。

テーマ「フリーな即興の過去・現在・未来」

日時：12月14日（日曜日）14時から

場所：専修大学生田キャンパス9号館（120年記念館）5F アトリウム
どなたでも参加できます。

アクセスについては専修大学ホームページをご覧ください。<http://www.senshu-u.ac.jp/>

解説：フリージャズからフリーインプロヴィゼーションへ

フリーな即興演奏は、フリージャズという形で1950年代に始まり、60年代に爆発的展開をみせた。その後、60年代ほどの勢いはなくなったものの、ヨーロッパを中心に世界各地に拡散して、現在も脈々と創造・演奏が行われ、他のジャンルとの融合も進んでいる。この間、フリーな即興は確実に変貌し、フリーインプロヴィゼーションとして音楽世界に大きな影響を及ぼしてきた。しかしその影響や浸透度合いの大きさほどに、この分野がメジャーになることはなかった。それは、ジョージ・ルイスが言うように、エスタブリッシュメントによる隠蔽があったかどうかはともかく、そういう演奏を語る「ことば」がなかったという面もあるのではないか。フリージャズにしる、その後の即興系の音楽にしる、少数の例外を除いて、ジャズクリティクは語るべきことばをもたなかったし、いまもそれは基本的に変わらない。それは、音楽を語るためのことば、あるいは音楽について考えるための思考の装置が、フリーな即興には対応できないようなことばや装置であるためだったのではないか。だとすれば、それらを新たに作り直す必要があるはずだ。そうした試みの第一歩を、近藤等則氏の演奏から始めるというのは、とても適切で、とても刺激的なことではないだろうか。

問い合わせ先：金子洋之 hkaneko@isc.senshu-u.ac.jp

近藤等則氏のプロフィール¹

近藤等則 Toshinori Kondo

ヨーロッパやアメリカでも高い評価を確立し、世界を舞台にグローバルな活動を続けるエレクトリック・トランペッター。

国内外の個性的なミュージシャン達との競演を重ね、参加したライブやレコーディングは膨大。

主な共演者：ビル・ラズウェル、ジョン・ゾーン、デレク・ベイリー、ジム・オルーク、ハービー・ハンコック、ペーター・ブロッツマン、DJ KRUSH、布袋寅泰、エレファントカシマシ、栄芝、etc

1948年、愛媛県今治市生まれ。中学校でブラスバンド部に入部、トランペットと出会う。京大に入学後、モダンジャズグループに所属し音楽に没頭。

1972年に大学を卒業後、上京。

1978年にNYに渡る。それを機に欧米の多数のミュージシャンと出会い、共演を重ねる。

1983年には、世界中で120回のライブセッションをこなしていた。

1984年、近藤等則 IMA (International Music Activities) バンドを日本で結成。ロック・ジャズ・ファンク・ヒップホップ等の20世紀の音楽要素を融合した革新的でオリジナルなサウンドが大きな話題になる。

日本国内では資生堂やJTB、アサヒビール等のCMに起用され、近藤等則本人も出演。

また、ヨーロッパやアジア圏にも数度にわたりライブツアーを敢行。

雑誌へのエッセイ連載などでも活躍し、「悲しい恋の物語」(1986年 音楽の友社刊)、「ラッパー本玉手箱」(1990年 朝日新聞社刊)等の書籍を刊行。

1993年、IMAバンドを解散し、アムステルダムへ活動拠点を移す。

「地球を吹く」をイスラエル・ネゲブ砂漠にてスタート。NHK「世界わが心の旅 エルサレム・混沌の音」として放送される。

1994年には、「地球を吹く」第二弾として、NHK「地球を吹く ペルー・アンデス 天空を駆ける音」が放送される。

フジテレビ系ドラマ「29歳のクリスマス」にも出演。

1995年には、阪神大震災支援ライブを神戸朝日ホールにて開催。

1996年にリリースされたDJ Krushとの共作アルバム「記憶 KI-OKU」は、日本のみならず世界のクラブシーンで反響を呼んだ。

1998年には、「地球を吹く in 三原山」と題して伊豆大島・三原山外輪山山頂にてライブ演奏。

2000年には、NHK「極北の夏を駆け抜けて ~大自然のパノラマ・アラスカ鉄道~」収録のためアラスカへ行き、マッキンレー山麓やデナリ国立公園

¹「地球を吹く」のホームページからのコピー、ただし最後の一行は、付け加えた。

で演奏を行う。

同年、ダライ・ラマ 14 世の提唱による音楽の祭典「世界聖なる音楽祭」日本開催の総合プロデュースに携わり、6 月に広島・宮島の厳島神社にて「世界聖なる音楽祭・広島 2001」を開催。

2003 年には、端唄の栄芝師匠との共演作「The 吉原」をリリース。江戸の端唄・小唄とクラブサウンドの斬新なミックスが評価され、第 45 回日本レコード大賞・企画賞を受賞。

2005 年、ヒロシマ・ナガサキ原爆投下 60 周年を迎え、黒田征太郎・近藤等則・荒木経惟・安藤忠雄らを中心に「ピカドン・プロジェクト」をスタート。

2007 年には、「地球を吹く in Japan」第 1 年目を千葉県・九十九里浜にてスタート。

2008 年には、書き下ろし・語り下ろしの著作「いのちは即興だ」を刊行。

2009 年には、「地球を吹く in Japan」第 2 年目を京都・上賀茂神社にてスタート。

こうした活動を追ったドキュメンタリー番組『近藤等則 この魂の、いのちの「音色」が聞こえるか?』も WOWOW にて 6 月にオンエアされた。

2010 年には、ビル・ラズウェルとのバンド”Method of Defiance”、ペーター・プロッツマンのカルテット”Hairy Bones”への参加、ショパン生誕 200 周年企画として、ワルシャワのバンド”Levity”とのレコーディング&ライブ等、海外での活動が続く。

11 月には、山本寛斎 SUPER SHOW「七人の侍」の音楽監督を務める。

2011 年東大寺で演奏、プロッツマンとメキシコで演奏。

2013 年映画「地球を吹く in Japan」完成

2014 年 Toshinori Kondo Recordings 配信開始